

12月議会  
ニュースライン



▲消防出初式での機械器具点検

社会文化会館・塩田中  
工事契約を可決

永年の懸案であった社会文化会館と老朽化に伴う塩田中の新築工事契約が可決した

P4

シーボルトの湯を  
指定管理に移行

嬉野温泉のシンボルであるシーボルトの湯が直営から指定管理へと移行することになった

P5

定住促進奨励金を追加  
(補正予算)

定住人口の増加を図るための定住促進奨励金が高評価につき追加補正された

P3

活発な一般質問

他市町と比べ質問者が多い一般質問で、本議会においても12名が登壇し活発な論戦が展開された

P8  
~15

委員会  
レポート

P16  
~17

議案の賛否

P6

人権擁護委員

P6

# 一般会計で145億5811万円に

平成24年第4回嬉野市議会定例会は、12月7日から20日まで14日間の会期日程で開催された。公共施設の使用料等の統一を図るため、条例の一部を改正する条例修正案や、嬉野温泉公衆浴場「シーボルトの湯」の指定管理に関する議案、一般会計などの補正予算案など35件の議案が提案され、全ての議案が可決された。また、最終日の20日に社会文化会館建設工事請負契約の締結について3件の追加議案が提案され、全会一致により可決された。

一般会計補正予算額は、5億1954万円、補正後は、145億5811万円となり、当初予算比10・4%増、前年同期比12・4%増と、合併後、最大の予算規模となった。補正の主なものとして、定住促進奨励金に125

# 繰越金を基金に積立

定住促進奨励金や

再生可能エネルギーなど

一般会計 5億1954万円を補正

0万円、再生可能エネルギー設備等設置事業に390万円、プロ野球オーブン戦スポンサー事業に0万円、再生可能エネルギー設備等設置事業に390万円、プロ野球オーブン戦スポンサー事業に2億9千万円を財政調整

330万円などが追加された。また、前年度決算剰余金の2分の1相当額2億9千万円を財政調整

基金へ、市債償還の財源とし4800万円を減債基金へ積立てた。(賛否表6ページ参照)

会計名	補正額	補正後の総額	
一般会計	5億1954万円	145億5811万円	
特別会計	国民健康保険	5844万円	44億478万円
	後期高齢者医療	479万円	3億2540万円
	農業集落排水事業	856万円	6億1802万円
	公共下水道事業	3370万円	3億392万円
	第7土地区画整理事業	▲50万円	2億5667万円
	第8土地区画整理事業	▲24万円	1億7242万円
水道事業	嬉野温泉公衆浴場	107万円	5036万円
	収益的収入	143万円	6億1358万円
	収益的支出	100万円	6億4844万円
	資本的支出	161万円	2564万円
	資本的収入	539万円	2億1672万円

**Q** 基金って何だ

基金とは、地方公共団体が条例の定めるところにより、特定の目的のために、財産を維持し資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産である。

**基金の種類**

年度間の財源調整のため余裕財源が生じた時、翌年度以降における財政状況を考慮して積み立てる財政調整基金や、市債など借金の返済のために積み立てる減債基金などがある。

この他に特定の目的のために財産を維持し積み立てる学校建設基金や公共施設建設基金がある。また、一定額の財産を運用する土地開発基金などもある。



▲人口増につながるか（新築住宅の風景）

嬉野市定住促進  
奨励金に

1250万円

問 定住促進奨励金とは。  
答 転入奨励金は、5年以上嬉野市外に居住されていた方が嬉野へ定住されることを目的に、1年内に新築または中古住宅を取得された時、また、持ち家奨励金は、市内在住者で住宅用地または住宅を所有しない方が現住所以外に新築または中古住宅を取得した時に一定金額が交付される。

問 追加補正の内訳は。  
答 転入奨励金が4件分400万円、持ち家奨励金が9件分850万円だ。

再生可能エネルギー  
設備等設置事業に

390万円

問 事業の目的は。  
答 地球温暖化問題の解決に貢献するとともに、市民が積極的に再生可能エネルギーを活用出来るようにする。

問 補助の対象は。

問 太陽光発電システム設置に対し、発電量1KW当たり3万円、上限10万円の補助を行う。また、小型風力発電システム設置に対し一律5万円の補助を行う。

問 補正予算の内訳は。  
答 10万円の補助を39件分390万円である。

パワーアップ  
事業に

330万円

問 事業の内容は。  
答 昨年同様、ヤフードームでのソフトバンクホームズのオープン戦のゲームスポンサーとして、「嬉野温泉」を宣伝し、市内の少年野球の子どもたちにも夢を与えたい。

問 賞品代20万円の自身は。  
答 観客に宿泊優待券が当たる申込チラシを配布し、応募してもらうものだ。

問 いつ頃の予定か。  
答 3月10日(日)を予定している。

副読本「わたしたちの嬉野市」を作成

179万円

問 副読本は授業ではどのように活用するのか。  
答 小学校3・4年生の社会科での地域学習用の教材として、また、小学3年生以上の総合学習の参考資料とする。

問 この副読本は平成19年度から配布されているが。  
答 今回、写真や統計資料等のデータの更新を行い、嬉野市の現状をより反映した副読本とする。

問 制作費と発行部数は。  
答 1部850円で2千部を作成する。

下童地区制水門  
工事に

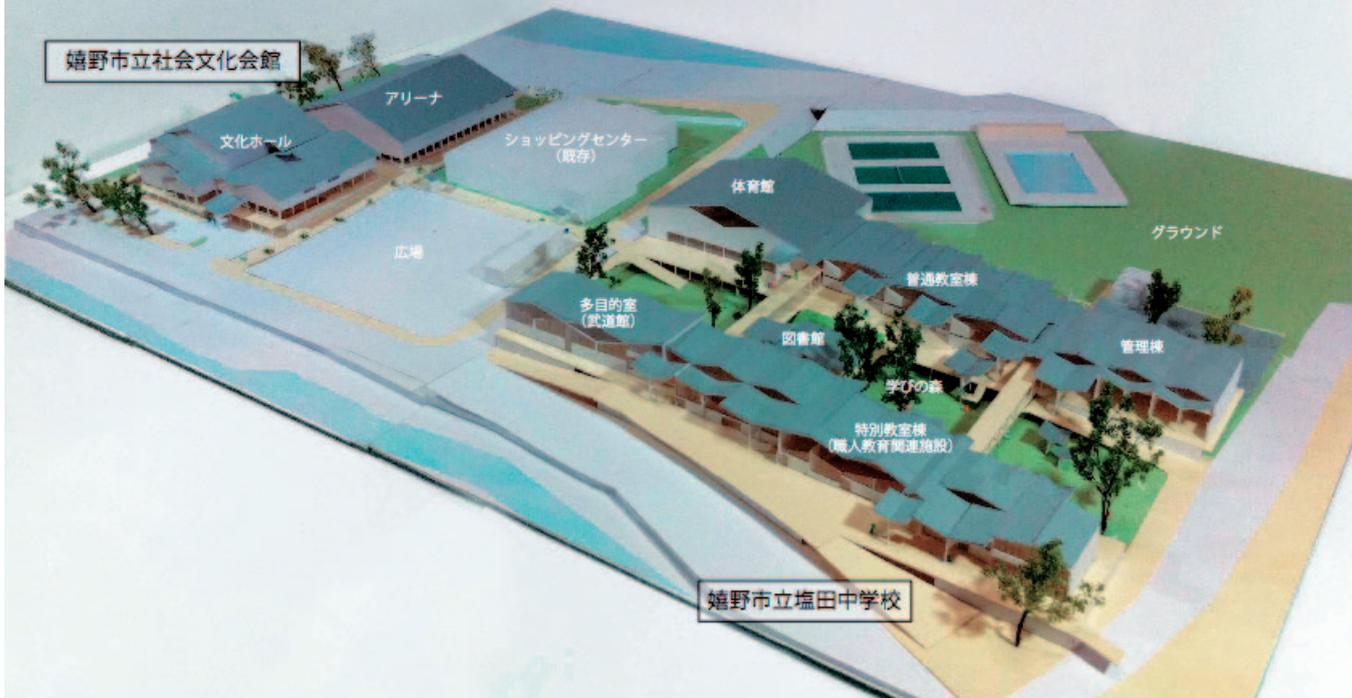
300万円

問 当初予算では、市管理施設の大牟田排水機場の除塵機塗装工事が計画されていたが。  
答 下童地区管理の制水門が造成後30年以上経過をして、門柱・ゲート等全体的に劣化や腐食が著しく、管理上危険な状態であり、緊急に工事を実施する必要があったので変更した。

問 事業費はどうなるのか。  
答 金額は大牟田排水機場の工事費と同じで、予算額の変更はない。

その他の主な補正予算

項目	金額
減債基金	4800万円
財政調整基金	2億9000万円
障がい者自立支援給付金	1億 827万円
生活保護・医療扶助費	5722万円
青年就農給付金事業	150万円
市道新設改良事業	700万円
農地・施設災害復旧	1160万円
公共下水道事業繰入金	1172万円
農業集落排水管路布設	4079万円
嬉野温泉公衆浴場管理費	107万円



▲社会文化会館と塩田中の完成予想パース

# 社会文化会館建設に一步前進

## 塩田中建設も可決

### 社会文化会館

#### 建築主体工事

- ・ 契約方法 条件付き一般競争入札
- ・ 契約金額 9億9,435万円
- ・ 契約相手方 黒木・高木特定建設共同企業体

#### 電気設備工事

- ・ 契約方法 条件付き一般競争入札
- ・ 契約金額 1億8,123万円
- ・ 契約相手方 佐電工・岡田電機電気共同企業体

#### 機械設備工事

- ・ 契約方法 条件付き一般競争入札
- ・ 契約金額 1億7,640万円
- ・ 契約相手方 菱熱・梶原特定建設共同企業体

工事費合計 13億5,198万円  
 ・ 工期 平成26年3月末

### 塩田中学校

#### 建築主体工事

- ・ 契約方法 指名競争入札
- ・ 契約金額 13億168万5千円
- ・ 契約相手方 東亜建設株式会社九州支店

#### 電気設備工事

- ・ 契約方法 条件付き一般競争入札
- ・ 契約金額 1億6,674万円
- ・ 契約相手方 九電工・宮園電工特定建設共同企業体

#### 機械設備工事

- ・ 契約方法 条件付き一般競争入札
- ・ 契約金額 1億3,377万円
- ・ 契約相手方 菱熱・兼茂特定建設共同企業体

工事費合計 16億219万5千円  
 ・ 工期 平成26年5月末

社会文化会館と塩田中学校の建設については、それぞれ第1回目の入札が不調に終わった。それを受け議会においては、担当部課の出席を求めて合同委員会を開催し、その経緯や今後の対応について説明を求めながら集中審議を行った。その後、入札条件の変更等の見直しが行われたなかで、第2回目の入札が開催された結果、それぞれ落札業者が決定した。そして、社会文化会館は定例議会に、塩田中学校は臨時議会に請負契約の締結議案として上程され、全会一致で可決した。  
 (詳細は左記の通り)

# 放課後児童クラブで 負担金を徴収

平成25年4月1日から、塩田・嬉野地区の放課後児童クラブが統一された内容で、各小学校において実施される。

この条例は、児童福祉法の規定により市が実施する放課後児童健全育成

事業に要する費用に充てるため、地方自治法の規定に基づき、嬉野市放課後児童クラブの利用者負担金を徴収することにし、必要な事項を定めるものである。



▲放課後児童クラブで楽しむ子ども達

区 分	期 間	保護者1人当たりの負担金(月額)
年間を通して利用する場合	8月以外の月	2,000円
	8月	4,000円
学校の休業日の期間中に限り利用する場合	春季休業日の期間	2,000円
	夏季休業日の期間	4,000円
	冬季休業日の期間	2,000円
	学年末休業日の期間	4,000円

## 公共施設の使用料 条例改正(14議案) に伴う主な改正点 について

- 今回、使用料条例を改正するにあたり、次にあげる8項目を基本とした改正内容になっている。
- 1、条例の条文の文言と使用料をできるだけ統一した。
  - 2、使用料を現行料金を基準とし時間単位で統一した。
  - 3、市内利用者の無料を有料とした。
  - 4、市外者も大学生以下は市内料金とした。また、市内宿泊者は市外でも市内料金とした。
  - 5、市外利用者は3割増とした。
  - 6、利用時間を原則7時から18時まで拡大し(ナイターは除く)一部を除き週休日の廃止。
  - 7、利用料金を百円や千円単位とし、消費税を含む。
  - 8、冷暖房費を部屋の大きさで区分した。

## 改正議案名

- ・嬉野市証人等の実費弁償に関する条例
- ・嬉野市コミュニティセンター条例
- ・嬉野市大野原地区コミュニティセンター条例
- ・嬉野市公会堂条例
- ・嬉野市立学校体育施設の開放に関する条例
- ・嬉野市公民館条例
- ・嬉野市歴史民俗資料館条例
- ・嬉野市文化センター条例
- ・嬉野市体育施設条例
- ・嬉野市学校運動場照明施設条例
- ・嬉野市老人福祉センター条例
- ・嬉野市研修センター条例
- ・嬉野市ふれあいセンター条例
- ・嬉野市都市公園条例



▲嬉野温泉のシンボル「シーボルトの湯」

## シーボルトの湯を 指定管理者に

- 問** 指定管理者はどこか。  
**答** 全国から4団体の応募があり、嬉野温泉観光協会が選定され、議会で承認した。
- 問** どのように選定されたのか。  
**答** 嬉野市から委託を受けた指定管理者選定委員会が選定した。
- 問** 選定理由は。  
**答** 嬉野温泉への理解度、温泉の共同利用、郷土愛、地元雇用、地元への経済効果などが挙げられる。
- 問** 今後の利用方法は。  
**答** 基本的には従来と変更はない

### 指定管理者制度とは

地方自治体がその公の施設の運営管理を任せたい事業者のことを言う。

平成15年に地方自治法の改正により、それまでの管理委託制度が指定管理者制度となった。

この制度により、地方公共団体の出資する外郭団体にとどまらず、広く民間企業、財団法人・社団法人・NPO法人にも公の管理運営を任せられるようになった。



人権擁護活動シンボルマーク

秘密

無料

# 人権擁護委員に 戸田・小笠原・藤田氏を推薦



戸田氏



藤田氏



小笠原氏

人権擁護委員の任期満了に伴い、小笠原愛子氏（59歳・新任・塩田町大字谷所）、藤田タキヨ氏（61歳・新任・嬉野町大字下宿）、戸田安之氏（65歳・再任・嬉野町大字吉田）の3氏を市長が推薦するため議会に提案された。これに対して議会は、全会一致で適任と認めた。

なお、人権擁護の相談会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されている。

## 陳情

地域社会建設決議に関する陳情

横浜市 荒木實

西岡家の管理運営について

塩田津町並み保存会  
理事長 前田貞昭

看護師等養成事業への財政援助について

鹿島藤津地区医師会立  
看護高等専修学校  
校長 太田春彦

### 陳情・請願の出し方

みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文書による請願や陳情書の提出があります。

提出にあたっては次の事項に注意してください。

- ・ 請願や陳情書には要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- ・ 請願書は一人以上の紹介議員が必要で、紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ・ 道路等は簡単な地図（略図）をつけてください。
- ・ 請願や陳情書のめりは定例会開会の6日前までです。

# 議案の賛否 どう判断

## 賛 否 表

○は賛成 ●は反対

議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	小田寛之	大島恒典	梶原睦也	園田浩之	副島孝裕	田中政司	織田菊男	神近勝彦	田口好秋	西村信夫	平野昭義	山口要
議案第 68号	嬉野市放課後児童クラブ負担金徴収条例について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第 85号	指定管理者の指定について（シーボルトの湯）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 88号	平成24年度嬉野市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 97号	嬉野市政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 98号	建設工事請負契約の締結について（社会文化会館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	建設工事請負契約の締結について（塩田中学校、27日臨時議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 12議員が質問

平野 昭義 議員 (8P)

山口 政人 議員 (8P)

山下 芳郎 議員 (9P)

梶原 睦也 議員 (10P)

山口 忠孝 議員 (10P)

辻 浩一 議員 (11P)

副島 孝裕 議員 (12P)

田中 政司 議員 (12P)

織田 菊男 議員 (13P)

西村 信夫 議員 (14P)

田中平一郎 議員 (14P)

山口 要 議員 (15P)

# お茶の間で議会を



・インターネット中継・録画放映  
 ・有線テレビ放映  
 (放映については議会事務局にお尋ねください)

次ページは  
 一般質問



12月議会

# 市議会の 30日間

平成24年12月

日付	曜	議会関連	内 容
7日	金	本会議	開会、執行部報告、提案理由説明、委員長報告
〃	〃	委員会	議案の詳細説明
8日	土	休会	
9日	日	〃	
10日	月	委員会	各常任委員会
11日	火	委員会	各常任委員会
12日	水	本会議	一般質問
13日	木	本会議	一般質問
14日	金	本会議	一般質問
15日	土	休会	
16日	日	〃	
17日	月	本会議	議案質疑 (補正予算)
18日	火	委員会	議案質疑 (補正予算)
19日	水	休会	
20日	木	本会議	討論・採決
27日	木	本会議	臨時議会

## 議員を 講師派遣

嬉野市議会は、議会改革をめざし、懸命に活動を行っている。  
 日頃の議会活動を参考にしたいと、二つの市議

会から嬉野市議会に対し、議会改革の講師派遣の依頼があり、10月30日は宮崎県小林市議会へ山口要議員が、また、12月25日は熊本県荒尾市議会へ神近勝彦・田中政司両議員が派遣され、嬉野市議会の議会改革への取組みについて報告した。

# 給食の合理化は中止すべきだ

平野昭義 議員

答 教育委員会部局で検討をしている



**平野** 歓声の声が市民に届く市政を標榜されてきたが、「歓声の声が」聞こえる市政について具体的に説明していただきたい。  
**市長** 誰もが笑顔を持つ



▲どうなる塩田学校給食センター

て暮らせる地域であつてほしいと言うことである。  
**平野** 市長は対話しながら理解をしていただきたいと言われるが、それならばなぜ問題が起きているのか。  
**市長** さまざまな意見をいただいていることは承知している。

な給食を維持せよと、保護者会は当局の説明会に猛反対の激論がされた。また、1700名がいる塩田町老人会は、足腰が不自由な身体を引きずつて、2千名の反対署名を提出され、まだ続いている。市長は日頃から歓声の声が届く市政を目指されてきたが、発言の重みをどのように受け止めているか。  
**市長** 現在さまざま意見を聞いている。統合につ

# 鹿島市、太良町との合併は

山口政人 議員

答 新しい広域圏について考えなければならぬ



**山口** 道州制が議論される中、次なる広域行政への対応が必要ではないか。少子・高齢化で人口の減少、それに伴って税収も減る。一定規模の基礎自治体（5万〜20万人）が必要と思うが市長の考えは。  
**市長** 同じ意見で、次の行政の枠組みを考えると、県西部全体ということになるのではと思つている。  
**山口** あまり広域化したら、いろんな問題が出てくると思う。古くから地理的面や産業、経済と結びつきが強い鹿島市や太良町との合併を多数の塩田町民は望んでいる。合併の是非を問うべきでは

ないか。  
**市長** 従前の合併協議の際、先方から離脱をされて今も残念に思つている。  
**山口** 一定規模の基礎自治体で今後のまちづくりを考えていくといった方向性が求められるとするならば、鹿島市・太良町との合併を議論すべきではないか。  
**市長** 合併の成果を求めるとすれば、大きな規模、県西部全体がそういう動きになつてくれればと思つている。

**給食センターの統合について**  
**山口** PTAに対する教育委員会からの説明会を傍聴した。いろいろな質問や意見が出ていたが、大多数の方は統合に反対だったと思つている。給食というのは、学校の近くで作るのが基本だと思うし、給食を合理化の一環としてとらえるべきでない。私は、今の逆で嬉野を廃止して塩田に統合するとしても反対をする。市長の考えは。  
**市長** 今、教育委員会で段階的に施設を統合していくことが技術的にできるか検討をしている。雇用の問題もあり、調理員さんの継続雇用ができないので、安全・安心の給食のため統合ということを検討している。  
**山口** 統合しないで安全・安心の給食のため、現在の調理員さんの雇用を守りながら徐々に切り替えていく方法はないのか。  
**市長** 担当部局で検討している。



▲韓国の子ども達との交流光景



### 鹿島・旧藤津との合併問題について

【平野】平成18年1月1日の合併から7年目を迎える

いては、教育委員会部局で研究している。施設の全部統合を伴わないでも、行革成果が得られる方法まで含んで、安心・安全の給食事業を行っていくよう検討している。

## 友好都市の提携を

### 答 進捗状況を見て進めたい

山下芳郎議員

【山下】国内は震災地と、海外は次代を担う子ども

の育成の一環として、中国を含めた東アジアとの友好都市の提携の考えはないか。

【市長】観光協会が締結している韓国の釜谷温泉や

中国の瀋陽へも拠点づくりを検討しているが、同規模でお互い無理のない対等交流が望ましい。中国との国交は厳しいが、自治体交流の大切さを先方も訴えられているので

た現在、さまざまな問題が発生している。農業や観光・漁業の資源を再発見し、県西南部にゆるぎない基盤を構築することにより、真の歓声の声が届く地域づくりができるのではないか。

【市長】以前、鹿島市や太良町とは、同じ自治体として頑張っていたが、合併協議

会の議決時に嬉野・塩田とは別の行動をされた。鹿島市、太良町の自治体の民意が独立の自治体としての方向を指されたものと思う。現在の制度の中では特に合併のメリットが考えられないが、以前と同じく鹿島市、太良町とは親しい関係を願って努力している。



▲道州制問題を掲載した新聞記事 (佐賀新聞より)

十分可能であると感じる。

【教育長】震災支援で気仙沼市とは交流があり、継続していききたい。海外では、国際的視野に立った人材育成を図りたい。提携にはお互いの機運が高まれば可能ではないか。

### 市民との対話を図れ

【山下】「議員とかたろう会」において給食センター統合問題で多くの意見が出たが、感情問題になっている。統合は唐突に

出たように思うが、市民や関係者に十分な説明はあったのか。

【教育長】給食センター運営協議会と学校給食納入組合、区長、PTA代表、保護者の方々に説明した。

【山下】行政改革大綱の第一次には民間委託への検討、第二次に統合とあるが、事前説明会の開催がなかった。今後どう進めていく考えか。

【教育長】あくまで計画の説明であり、最終決定は予算がついてからである。

### 肥前国風土記の行事を

【山下】肥前国風土記に嬉野温泉が紹介されて来年で千三百年の節目の年を迎える。記念行事の計画

を関係団体と協力して行えないか。嬉野温泉の素晴らしさは温泉の歴史と泉質である。古来より恵まれていことに感謝し、次代につなげることが責務である。フラ・フェスバルと連携し、相乗効果を図ってはいかがか。

### 道路補修維持の予算化を

【山下】周辺部の道路補修の予算が少ないことで住民の要望ができていない。予算の拡充ができないか。

【市長】緊急を要するものは予算化する。

# 給食センター統合は見直すべきだ

梶原睦也 議員

答 教育委員会部局で検討している



**梶原** 給食センターの統合計画は子どもの減少とも大きく関わっているが、配食数の推移はどうなっているか。

**教育部長** 平成24年度で2358名、先生達を含

め2645食、平成29年度で2101名となり食数が2388食となる。

**梶原** 教育委員会の中では、29年度統合でもいいのではないかと意見があったと聞くが。

**教育部長** そのような意見もあったが、統合の必要性を感じ、その方針で現在まで進めてきた。

**梶原** 嬉野給食センターの最大調理数が2300食であり、これが1カ所に統合したら約2700食となって、約400食もオーバーすることになり運営上支障が生じることを危惧する。

**教育部長** そこで、6千万円の予算で嬉野給食センターの一部改修の計画を立てた。

**梶原** 最大調理数ではない現状でもぎりぎりの運営がなされている。限度を超えた状態の中、多少の改修だけでは適正な配食は無理ではないか。現場を何度も見たが、コンテナ1つを出すのも大変な状況にあり、天ぷらを揚げる大きな鍋の間隔も狭く、調理員さんの安全



▲記念植樹の森が欲しい立岩展望台

## 記念植樹の森を作ったらどうか

山口忠孝 議員

答 地権者の協力が得られれば行動したい



**山口** 立岩展望台の下に記念植樹の森を作ったらどうか。

**市長** 以前も検討したことがあった。地権者の方の了解がいただければ行動を開始したい。

**山口** このような「自然を生かした街づくり」の仕掛けを行政もやってはどうか。

**市長** 観光振興の面から今後検討してみたい。

医療センター跡地  
活用について

**山口** 医療関係の学校施設の誘致も考えられているようだが、人口減少社会に向かっているのでは現実的ではないと考えるが。

**市長** まだ具体的に動き出していないので、そこからは十分把握した上で努力していきたい。

**山口** 老人福祉センターの建て替えも含め、元気な高齢者の居場所や塩田地区の利用者も常時受け入れられるような施設、また、水中ウォークなど健康づくりのできる施設を市民の福祉のために新設したらどうか。

**市長** 施設の建て替えも視野に入れ検討したい。地元の方が集まってもらえらるような施設でないかと長続きしない。十分考慮して検討していきたい。

**山口** 隣接する西公園も整備してはどうか。

**市長** 当然計画の中に入れて努力をしたい

ICT教育は  
本当に必要か

**山口** ICT教育はどのような教科で行われているのか。

**教育部長** 理科や家庭科、体育など、動きや変化のあるものを動画で見ることができると。

**山口** 教師は便利な道具に頼りすぎて、子どもたちと向き合う時間やつながりが減るのではないかと。

**教育部長** 教育は学校だけでなく、家庭や地域社会でも行う。学校は学力をつける学び舎と思う。

**山口** 子どもたちの学校という集団の社会が変わってきて、その歪みとして、いじめ問題が多発してきているのではないかと。

**教育部長** いじめ問題は私たちの小さい頃からあったので、そうではないと思う。



▲窮屈になるコンテナ置場（嬉野給食センター）

対策も心配である。

**教育部長** 確かにコンテナ室は狭い。また、天ぷら室については現場と打ち合わせをする。

**梶原** 今回の統合計画では、その他にも休憩室や駐車場など課題点多すぎる。

**教育部長** 詳細なことについては考えてはいなかった。

**梶原** 行革や経費削減は必要であり、財政状況が厳しい中、何かを削って財政を立て直すことに反対するものではない。し

かし、今回の給食センター統合計画では、現状の給食またはそれ以上の質の高い給食の提供ができません。今回の統合計画は見直すべきだ。

**市長** 現在、教育委員会部局で検討中であるが、給食の安全・安心の確保は当然行っていく。

**その他の質問**  
・リース方式によるLED照明について

## 民生委員数は満たしているか

辻浩一 議員

答 幸いにして確保している



**辻** 改選期において定数不足の期間はどれくらいだったか。

**市長** 大半の地区が半年以上であった。

**辻** 仕事をしていく上で、個人情報保護法が壁にな

っていないか。

**福祉課長** 弁護士に照会したら、住民基本台帳等情報提供するの目的外との解釈である。

**辻** 立ち入り調査の権限が必要ではないのか。

**福祉課長** 個人情報の関係で、どこまで開示できるか悩んでいる。ただ、個別の場合は情報を伝え

**辻** 民生員法で報酬はない規定になっているが、活動費として歳出されている。幾らか。

**福祉課長** 1人年間9万9千円である。

**辻** 法律上これ以上歳出出来ないのか。

**福祉課長** 繰越金が発生している。そこを活用して、それでも足りないと思われる必要がある。

**辻** 現行では無理だと思

**福祉課長** 厚生労働大臣の委嘱となっている。報酬や謝金は法律的に難しい。

**福祉部長** 全国社会福祉協議会から国へ民生委員への支援強化の要望がな



▲視察対応をされる民生委員会

されている。議会からも国へ声を上げてほしい。

**AED設置の改善をせよ**

**辻** 新設のAED設置方法は

**地域づくり・結婚支援課長** 野球場等は外部から取れるよう設置している。

**辻** すでに設置してある休日・夜間利用の多い施設はどうする。

**市長** 外づけのボックス等、可能なものには次年度の予算に配慮したい。

**辻** PTAや社会体育で

夜間利用の多い学校施設は、早急な改善が必要ではないか。

**教育長** できれば外づけが良いが、例えば鍵を貸し出す際に、一緒にAEDも貸し出すのも一つの方法ではないかと思う。

**結婚支援登録の簡素化を**

**辻** 登録受付場所の配慮は出来ないか。

**地域づくり・結婚支援課長** ケースによって臨機応変な対応をしている。

# 学 校統廃合について

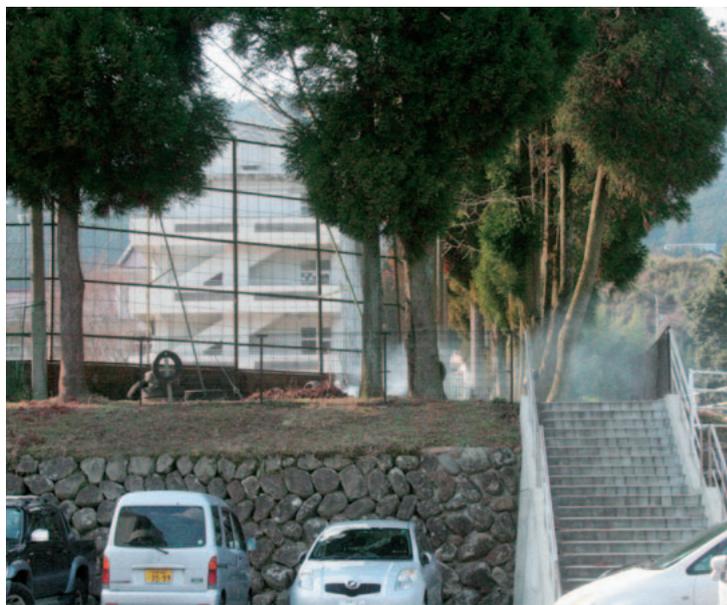
副島孝裕 議員

**答** 児童数確保の必要から検討する時期が来る



**副島** 第二次行財政改革大綱の実施計画に「学校統廃合の検討」があるが、進捗状況は。

**市長** 教育の成果を求めていくためには、ある程度の児童数を確保する必



▲吉田小と吉田中を結ぶ連絡階段

要があり、いずれは学校の統廃合など検討する時期が来るものと思う。

**副島** 来年度計画の五町田小学校の改修工事は。

**教育長** 耐震診断の結果補強工事の必要はないが、37年経過し老朽化が進んでおり、教室内の改装、外壁と屋上の防水補修、窓ガラスの取り換えなどの改修を予定している。

**副島** 予想以上の速さで進む少子化に対し、小中連携・小中一貫についての対応策は。

**市長** 小中連携について

は、吉田小・中学校で実施しており、成果を上げている。

**教育長** 今年度から「ろく・さんプラン」の年間計画を立て、中学校区ごとに小中連携を実施している。学校運営に関わるソフト面の小中連携が充実すれば、小中一貫も難しくないと考えている。

**給食センターの統合について**

**副島** 平成25年度統合実施を含めて、見直す考えはないか。

**市長** 平成25年度統合実施を含めて、見直す考えはないか。

# み ゆき公園サッカー場の芝はどうする

**答** 全面的にやりかえないと難しい

田中政司 議員



**田中** みゆき公園のサッカー場（球技場）は、芝の傷みがひどく、プロはおろか中学校や高校においても試合には使えない状況と聞くと、今後の対応は。

**市長** 最終的には、現在埋め立てをおこなっている所が出来上がったときにどのような仕上げるのか、その時に現在の場所を最低1年間は閉鎖して、全面的にやりかえないとなかなか難しいという風に考えており、相当な経費もかかると思う。

**田中** 埋め立ての完成は、3年ぐらいいはかかると思う。完成した後2

面になってから、片方ずつ張り替える方法しかないと思う。

**インターネットのファイバーケーブルは**

**田中** インターネットのファイバーケーブルのサービスが受けられない状況だが、市の対応は。

**市長** 以前も要望があり、会社と協議をおこなったが、コスト的に合わないとの結論であった。そこで、補助制度などを利用して、有線による超高速ネットを導入している。現在の先方の判断は伺っていないので、再度伺う。

**防災行政無線について**

**田中** 9400世帯に全戸配布ということであるが、事業所等への配布はどうなる。

**市長** 1業者1台は設置していただくように呼び

かけをしている。  
**総務課長** 事業所統計調査によれば、市内で1480の事業所がある。設置要請の文書は出していないが、市民の方を通じ事業所への設置要望をお願いしたい。

**市民楽団（仮称）の立ち上げは**

**田中** 今回、社会文化会館が建設され、市民の文化活動がますます活発化されることを望むが、市が中心となり市民楽団などを立ち上げてはどうか。  
**市長** つくれたらと希望しており、関係の方には伝えているところである。今後どのような動きが適切か、関係者の皆さんから意見を拝聴したい。



▲老朽化した橋



## 公 共建築物の老朽化 対策について

答 調査を含め対応していく

織田菊男 議員

**教育長** さまざまな意見を拝聴しており、しばらく時間をいただき、教育委員会事務局で検討し表明できるようにしたい。

**副島** 学校給食における地産地消の推進や食育推進についての対応策は。

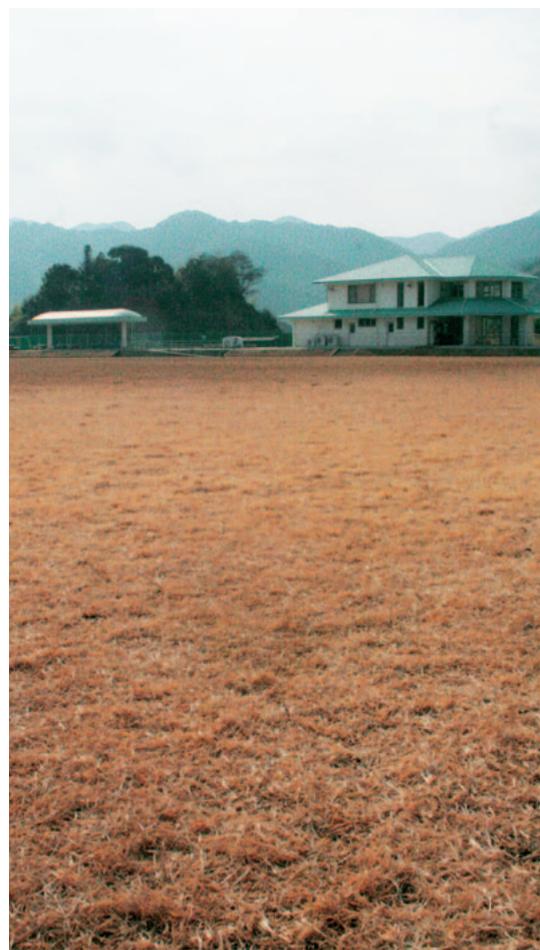
**教育長** できる限り市内産の食材を使用するよう努めている。2600食

全てを規格と量とを賄うのは困難であり、納入組合の方々との協議をしながら取り組む必要がある。食育については、衛生管理や栄養バランス・会食マナー・伝統食などの指導をしている。

**重要文化財西岡家運営事業の見直しについて**

**副島** 西岡家を含む塩田津重伝建地区の、今後の整備構想は。

**市長** 塩田津町並み保存会の皆さんと協議したい。将来の課題として、塩田津から大草野や五代・吉田地区までの塩田川の遺構群として、地域全体が歴史的価値を認めていた、ただような施策を広げたい。



▲改良が望まれるみゆき球場の芝生

**織田** 高度成長期に建築した公共建築が急速に老朽化しているが。

**市長** 対策はおこなっている。緊急に対応しなくてはならないものも多い。

**織田** 道路については。

**建設・新幹線課長** 今、通行止めはない。維持補修の場所は5カ所、今回の補正予算で行う。

**織田** 橋については。

**建設・新幹線課長** 橋については規制・通行止めの箇所はない。

**織田** 橋についての点検は終わっているとのことだが、国からの補助金を使ったのか。

**建設・新幹線課長** 策定作業は今年度末に済む。国の補助金である社会資本整備交付金で行った。

**織田** 老朽化の検査はどうしている。

**建設・新幹線課長** 基本的には目視やハンマーによる点検をし、内部についてわからないのは、コア抜きしてレントゲンの

利用など行っている。

**織田** 老朽化の検査ができる技術職員はいるのか。

**建設・新幹線課長** 老朽化に対応できる職員はいないので、社会資本整備の委託費でコンサルに委託している。

**織田** 技術職員の中途採用はどう考える。

**市長** 技術職の職員の経験者採用は既に行っている。

**織田** 国は、事後保全より予防保全を進め、補助金を出しているが。

**市長** 2年前ぐらい前から長寿命化対策の資金を使うことを説明している項目もあり、できるだけ利用している。

**織田** 水道については。

**水道課長** 水道管の老朽化は進んでいる。更新計画に基づいて、更新を行っている。

**建設・新幹線課長** 水みちの影響により長年かけて陥没するところが1年に2、3カ所ある。

**織田** 学校については。

**市長** 嬉野は問題ない。塩田地区は、耐震工事の際に必要な所は一応補修工事がかね支障がないようにしている。

**織田** 財政負担はふえるが大丈夫か。

**市長** 短期的には25億円、今後60年で514億円と見積っており、対策は行っている。

# 給食センターの統合はすべきでない

西村信夫 議員

答 教育部局で検討中である



**西村** 効率化を優先した給食センター統合は市民の理解は得られないと思うが、市長の考えは。  
**市長** 現在、教育部局で検討中であり、方針が決定したら説明する。

**西村** 学校給食の調理業務が民間に委託された場合、自治体職員である栄養士は調理に関する指示はできないが、安全安心な給食はできるのか。  
**市長** 献立表は栄養士が作成し、給食の検査を実施して事業を行うので問題は無いと考える。

**西村** 民間の調理員に職員である栄養士が指示傳達すれば偽装請負になるが、教育部長の見解は。  
**教育部長** 業務委託した場合、職員は受託先の従業員に指揮命令はできないので、受託先の栄養士から従業員に指示する。

**旅館・ホテルの防火対策について**

**西村** 今年5月、福山市のホテル火災で人的被害が発生した。本市の宿泊施設の避難訓練や避難通路の点検など、防火対策の整備状況はどうか。

**総務課長** 市内で46件の宿泊施設があり、避難訓練実施した施設は34件、未実施の旅館・ホテルは消防署や旅館組合などから防火対策の指示をする。



▲給食になくてもならない配送車

# 給食センター統合計画を見直せ

田中平一郎 議員

答 現在検討させている



**田中** この問題については、9月議会でも取り上げたが、いろいろな動きがある中で改めて質問する。11月21日塩田地区のPTA会長や保護者を集めて市役所からの説明会

が開催された。その時、保護者からは貴重な意見を含め多数の反対意見があった。更には、老人会においては署名運動まで展開されている。このような現状を勘案すると、今の動きは走りすぎているのではないかと考える。こうした中でも統合を進めていくのか。

**市長** 今日のような急激な少子化については、全く予想できなかったことである。また雇用条件の課題についても以前とは変化している。こうした中、行財政改革推進委員会においても、子ども達や父兄に負担をかけることなく給食事業を行うための施策として、統合案が提案された。これを受け、教育委員会においては、いろいろな意見も取り入れながら検討を進め、行財政改革の成果をあげるようにしていることを理解してほしい。

**田中** 統合における詳細について、改めて問う。

**教育部長** 嬉野給食センターの最大調理数は2300食であるが、統合す

れば2600食分が必要となってくる。その増加分の300食分については、嬉野給食センターの一部改修が必要であり、その改修費に約6千万円程度必要である。しかし、25年から29年までのトータルをすると合併して約4千万円程度の効果が出てくる。

**田中** そう説明しても無理がある。母親の意見の中に「大事な給食センターを経費節減と事務処理のために削減していいのか」ともあった。老人会の署名運動もあり、計画を見直してはどうか。

**市長** 私たちの責務として、子どもたちに安全・安心の給食を確保する必要がある、そのための努力をしている。基本的には現在検討をしているので、その結果については次回の議会で質問してほしい。

道路整備計画について

**西村** 火の口交差（五町田）の整備計画で、嬉野市空き家条例との関連性が生じると思うが、本市の対応は。

**総務課長** 市内全体で危険な建物の空き家が65件ある。その中の1件が火の口交差点付近の空き家も該当する。今後条例に従いながら対応したい。  
**西村** 瀬頭酒造から山口

建設までの拡張工事についての計画は。

**市長** 年明け（25年）に延長を発注予定されている。まだ民地等の交渉が残っているが、今後詰めていかれると思う。

**西村** 国道498号線（南下久間）の道路改良について計画を伺う。  
**建設部長** 地元と連絡を取りながら、事故が起きないように改良に向け努力していく。



▲給食業務に励む調理員さん

# 寄 付文化の定着を

山口 要 議員

## 答 調査を含め努力する

**山口** 本市には篤志家からの寄贈品が多数存在しているが、その中には寄贈者の氏名すら忘れられているものが多々ある。寄付文化の定着のために、寄付者を長くたたえ



るべきではないか。

**市長** 寄付文化は大事なことであると思っている。以前の寄付の記録などで把握してないものもあると考えるので、今後調査をしていきたい。

### 観光問題どう取り組む

**山口** 観光立市の本市においては、観光政策がキーポイントでもある。観光における今後の方向性や対応をどう考えるか。

**市長** 第一に観光人材の育成、次に歩いて楽しい温泉を核として観光産業の育成、東アジア地域への観光戦略の充実、ユニバーサルデザインと健康保養施策の推進、新幹線嬉野温泉駅の整備などが柱になってくる。

**山口** そのような施策と併せ、街の雰囲気づくりも大事である。そのことへの取り組みは。

**市長** 以前からの指摘もあり、現在予算を入れて整備を行なっている。今後も頑張っていきたい。

### 本市のPRに努力せよ

**山口** 今日、情報戦争と



▲寄贈された嬉野小の銘石

言われているように、各種の情報入手や発信が重要である。特に発信については、あらゆる媒体を通じて積極的に発信していくべきではないか。

**市長** 現在、さまざまに情報発信に努めている。以前のように、特別に強い媒体がリードするということが出来ない時代になっただけなので、ネットを含めて拡充していく。

### 審議会に女性委員を

**山口** 各種審議会に女性

委員や公募委員の登用を増やしていくべきだ。

**市長** 審議会によっては女性が少ない場合もあるので、今後も増加に向けて努力していきたい。

### 辞書引き学習を

**山口** 本市での辞書引き学習の現状と、今後の取り組みはどうか。

**教育長** 学校による温度差はあるが取り組んでいる。今後は先進校での検証結果を参考にしながら取り組みを浸透させる。

# 全国の先進事例をキャッチ

# 委員会レポート

## 自治体クラウドと温泉水発電について

### 総務企画 常任委員会

自治体クラウドは各自治体において様々な取り組みが行われているが、先進的な取り組みを展開している新潟県三条市と魚沼市を視察研修した。なお、視察に先立ち杵藤電子計算センターにて事前に研修を行った。温泉水発電についても視察を予定していたが、残念ながら当該施設が工事中のため中止せざるをえなかった。



▲魚沼市でクラウドの説明を受ける総務企画委員

### 委員会報告とは

定例議会最終日に、調査課題として各委員会に付託を行います。各委員会は、その付託案

件について、議会の休会中に視察・調査を執行します。その結果は次の議会に委員会報告として上程し、質疑応答の後、採決を行います。

### 委員会の意見

三条市や魚沼市で取り組まれている住基ネット等の住民情報系は、嬉野市でもクラウド形式ではないが広域圏で取り組んでいる。しかし、施設予約等の手続き系は行っていない。

「長崎県自治体クラウド」と呼ばれるこの公共施設予約システムは、導入やコストが安価で、汎

用性が高いという評価をされていた。嬉野市でもみゆきドームや社会文化会館などの施設の増加に伴い、煩雑な利用申込手続きの利便性を考えたら研究していく必要があると考える。

今後、自治体クラウドの活用は一層重要になってくると思われるので、嬉野市でもさらなる研究を望むところである。

### 常任委員会の構成と主な担当

産業建設常任委員会	文教厚生常任委員会	総務企画常任委員会
委員長 田中 政司	委員長 梶原 睦也	委員長 大島 恒典
副委員長 平野 昭義	副委員長 山口 政人	副委員長 山下 芳郎
委員 田中 重喜	委員 山口 要	委員 田口 好秋
委員 園田 浩之	委員 西村 信夫	委員 神近 勝彦
委員 小田 寛之	委員 田中平一郎	委員 織田 菊男
委員 山口 忠孝	委員 辻 浩一	委員 副島 孝裕
・ 商工・観光関係	・ 健康福祉関係	・ 総務関係
・ 建設関係	・ 学校教育	・ 財政関係
・ 農林関係	・ 文化財	・ 街づくり企画
・ 環境衛生関係	・ 水道事業	・ 消防関係
・ 窯業関係		・ 社会教育
		・ 選挙関係

# 3つの



▲京都市教育委員会で研修する文教厚生委員

## 文教厚生委員会

### いじめ・不登校問題について

いじめ・不登校問題に対し先進的取り組みを行っている堺市・京都市、両教育委員会を視察研修した。

堺市においてはSC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）の配置やネットいじめの対策、24時間対応の電話教育相談等がある。京都市においても堺市と同様の取り組み

みその他、不登校支援センターを設置し、いじめ・不登校についての相談業務や不登校を経験した子ども達のための中学校も設置されている。

#### 委員会の意見

いじめや不登校の原因については様々な要因がある。本人と家庭環境、学校や友人・先生との関係も考えられる。そうい

った意味でSC・SSWの役割は大きいものがある。今回の調査では有能なSCやSSWはかなりの成果を出しており、これらの人材育成も必要だ。

その上で教員が制度に使われるのではなく、問題解決のために子どもや保護者と徹底した対話を重ね、信頼関係を深めた上で制度をうまく使いつなしていくことが必要である。また、問題解決のために的確な判断のもと、小・中学校も含めた教師間には勿論、SC・SSW、時には地域との連携も図っていくべきである。

## 産業建設委員会

### 観光振興のために官民一体となつた施策を

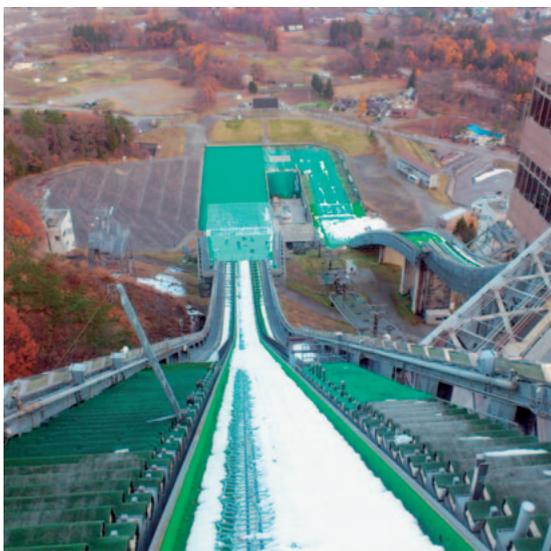
#### 委員会の意見

嬉野市の基幹産業である観光業は厳しい現状にあるので、その振興を図るためには行政と民間が一体となつた取り組みが必要だと考える。

今回、行政と民間が一緒になつた組織をとつている長野県白馬村の観光局を訪ね、その生い立ちや運営方法、問題点や課題などを視察してきた。

白馬村を単なる観光地でなく目的地として捉え、マネージメントしたりマーケティングする組織として、官民一体となつた観光推進組織「白馬村観光局」を平成16年に設立し、観光の推進に努力されておられる。しかし、観光局会員の減少や予算の問題など課題も山積している。

今後、嬉野市が観光を市の産業の大きな柱として考え、新幹線の開通などを契機に「街中に笑顔があふれ、暮らす人も訪ねる人も、嬉しくなるような活気あふれる街」を目指すためには、観光推進のための「目的と目標を明確化」し、市民全体がそれに向かい気持ちを一つにできるような振興策と取り組みが必要があらうし、それを具現化する組織の在り方として、官民一体となつた白馬村観光局の取り組みは大いに参考にすべきと考え



▲白馬村のシンボルであるスキージャンプ台

今回の調査テーマは下表です。調査レポートは3月議会号に掲載します。

総務企画常任委員会	長崎県自治体クラウドサービスの運営状況について
文教厚生常任委員会	伝統的建造物群の今後の保存のあり方について
産業建設常任委員会	長崎国際コンベンション協会の取り組みについて

# 議員とかたろう会を開催

## 市民の皆さんと対話

今回で8回目となる嬉野市議会の「議員とかたろう会」を11月12日から11月15日までの4日間にわたり8地区で開催しました。

この間154名の方に参加いただき、様々なご意見・ご要望を賜り充実した「議員とかたろう会」が開催できたことに対し感謝申し上げます。

ご意見・ご要望等は議会内で取りまとめを行い、執行部への提出や議員活動の参考にさせていただきます。

ご意見・ご要望等は議会内で取りまとめを行い、執行部への提出や議員活動の参考にさせていただきます。

動の参考とさせていただきます。今後とも議会活性化を

積極的にを行い、より充実した嬉野市議会を目指してまいります。

### おもな要望

- 医療センター跡地に、嬉野市の活性化ができる施設を
- 地域コミュニティ交付金の執行方法について、翌年度繰越ができないか
- 自治公民館の補助金の拡大適用を（空調設備や通行路の手すり等）
- 市税の徴収率向上に1層の努力を
- イノシン駆除による強力な対策を
- 塩田地区の公園に遊具の充実を
- 市道大牟田東線（公民館前）の拡幅を
- 大型バス対策として「みなと広場」等に駐車場の確保を
- 市役所職員の市民に対する接遇マナーの改善を



▲大草野地区での議員とかたろう会

### 女性の声

### 新年を迎えて

田島千恵子



今年は遠方に住む家族も顔を揃え、賑やかな新年を迎えた。この一年、穏やかな喜びの多い年になるよう祈りながら、新たな一歩を踏み出した。

私の故郷は雪国で、今年は例年になく雪が多く、毎日雪と奮闘しているとの便りが届いた。こちらに嫁いで四十年近くになるが、正月は一度も帰ったことがない。もう、あの寒さには体もついていけないと思う。夏の暑さには閉口するが、一年中花を眺められて、心も身体も解きほぐしてくれる温泉があるこの嬉野が、今の私には一番居心地のいい場所になっている。

「二人で幸せを築いていこう」と言ってくれた夫も、早々と一人であの世へ旅立ってしまった。その絶望の淵から私を救ってくれたのは、この地の人達だった。ここに住むことで少しずつ心も身体も癒されていった。

今は、故郷を離れている息子も娘も嬉野が大好きだ。東京に住む息子は、東京生まれの嫁にここで育ったことや経験を自慢げに話している。

そんな自慢の故郷が、だんだん寂れて空き家が目立つようになっていく。孫の時代になったらどうなるだろうか心配になる。子ども達が誇れるふるさとを残していくにはどうしたらいいのだろうと考えながら、今年もできる限り地域と関わって居心地のいい嬉野にしていきたいものである。

### 議会広報編集特別委員会

委員 長	小田寛之
副委員 長	山下芳郎
委員	山口 要
委員	平野昭義
委員	織田菊男
委員	副島孝裕
委員	梶原睦也
委員	山口忠孝

失われた十年、二十年といわれるが何を失ったのかなあ。生活を比較すると便利になり良くなったと思うが▼対外的には中国との尖閣諸島問題での輸出減による経済の停滞、韓国との竹島問題による政治的な摩擦が心配▼国内的には東日本震災の予算の流用と苛立つばかり。被災地のことより自分たちの利権が大切なのか▼原発事故の報道は少なくなったが原発は厳しく監視し再開すべきではないか。日本の製造業は世界での負け組、競争力を失いつつある。原発が無くなれば電気料金が上がり工場は国外に。働くところがなくなる▼心配の種ばかりだが政権交代もあり新政権に期待するしかないか。(菊男)

### コラム